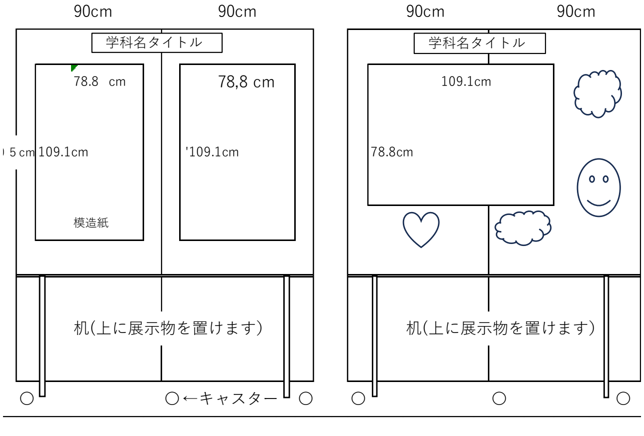
１４期　激動の幕末を読み解く　トピックス(６月)

日時：6 月 11 日（木）10：00〜12：00　　　教室：ONCC 豊中教室
講師：中村　武生　先生
内容：「海防に目覚めた対応－華夷体制崩壊への危機感」
　　　幕末、異国船来航から幕府の体制の変化、薪水給与令、松前奉行設置他。
　　　高田屋嘉兵衛、大黒屋光太夫、大塩平八郎他

今日は休まれている方が多く全部で１３名でした。
＜今日のひと言＞
・幕末の日本に多くの外人が来航した頃の事件が詳しく聞けました。
・中村先生の圧倒的情熱と知識に毎度驚かせられます。
・シーボルトコレクションに興味がわき日本に再び来ることがあれば必ず観に行こうと思う。

午後　校外学習の案内・藤井交流祭実行委員よりふれあい交流祭の説明

〇校外学習　7/2　難波宮跡と大阪歴史博物館
〇ふれあい交流祭
　発表形式（展示、パフォーマンス、ゲーム等）
　　模造紙　サイズ　78.8×109.1　タテ ２枚
　　　又はサイズ　109.1×78.8　ヨコ １枚
　机（上の展示物を置けます）
　各班パネル２枚で展示する。
〇クラス運営についての意見交換



日時：6月25日（木）10：00～12：00　　教室：ONCC豊中教室

講師：中村 武生 先生

内容：「ペリー来航・和親条約―「開国」ではない」

・モリソン号（アメリカ船）事件の真実

→蛮社の獄（高野長英、渡辺崋山）

・天皇号の復活「光格天皇」－950年ぶり

・オランダ国王の開国勧告国書を拒否

・老中首座に阿倍正弘就任

・ペリー(米)　浦賀に来航

プチャーチン（ロ）長崎に来航

・海防（国防）の重要性

徳川斉昭を海防参与に

・日米和親条約を締結

① 伊豆下田・蝦夷箱館を開港（正確には寄港を許可）

② 燃料・食料・水の供給

③ 難破船と乗組員の救助

④ 必要なら領事に駐在許可

→「華夷」秩序は維持 ＝「鎖国」は維持 ＝「開国」とは言えない。

＜今日のひと言＞

・最後の和親条約と4年後の通商条約との位置付けについて理解が深まりました。

・1830年～1850年に外国船が渡来してから時代が動いていく予兆があったことを興味深く聞きました。

・いよいよ所謂幕末に入ってきた。これまでの通説と異なる先生の話が楽しみになってきた。

午後　健康セミナー「歯や口の健康づくり」

日頃の歯の健康について

唇・歯・舌などの役割、うがいの仕方他、又誤嚥性肺炎の予防等、いろいろ教えて頂いた。

＜今日のひと言＞

・オーラルフレイルの学ぶ機会があって良かったです。いろいろ勉強になりました。

・よくかむ、ブクブク、ガラガラ、カチカチが大事ということがよく分かった。

（文責：2班広報）